

挨拶

会長 藤田 大介



2011年6月に有賀祐勝先生（東京水産大学名誉教授）の後を受けて会長を務めさせていただき、早くも6年半が経過しましたが、このたび、再々度、会長に選出していただきました。この間、会員をはじめ、多くの関係者のご理解、ご協力のもとに、17冊の会報を刊行し、7回の秋季海藻シンポジウムを開催し、5回の視察旅行・交流会を行って参りました。会報は海藻の色彩がわかるようにオールカラーとし、昨年からは日本科学技術機構のデータベースにも収録されることになりました。秋季シンポジウムは2017年度から会場を東京海洋大学に移し、お気軽に懇親会まで参加いただけるようになりました。海藻会員も、若干の入れ替わりはございましたが、増加傾向にあり、今期は理事も6人から10人に増え、初回の理事会から積極的なご意見を多数賜り、何かと楽しみな任期になりそうです。

先の挨拶にも書きましたが、海藻の利用は古来、日本人の誇るべき文化の一つです。人類の健康と安心安全な暮らしの支えとして、海藻

への様々な期待が高まっています。一方で、気候の変動、沿岸環境の
改変、世界的な海藻需要の増加に伴い、藻場や海藻資源を取り巻く状
況も大きく変化しています。このような時代を迎え、日本の海藻業界
をリードしてきた諸会員とともに、新たな文化の創造と発展に貢献し
できるよう、微力の限りを尽くしたいと思います。

日本海藻協会の趣旨

日本海藻協会は、日本の海藻業界の発展を推進すると共に会員相互
の情報交流と親睦を図ることを目的としています。

主な活動

・会報「海藻資源」の発行

応用海藻学分野の研究成果や海藻産業界の発展に役立つ貴重な情報
(総説、報告、翻訳、その他の資料)を掲載しています。

・シンポジウム・講演会・講習会等の開催

毎年 10 月に「秋季藻類シンポジウム」を開催し、一般市民を含む大勢の方々にご参加いただき、懇親会を通じて会員相互、あるいは講演者との交流を行っています。講演の概要は講演集（会報）として発行しています。

2007 年には、**国際海藻協会（International Seaweed Association, ISA）** 主催の第 19 回**国際海藻シンポジウム（International Seaweed Symposium, ISS）** を共催しました。

・親睦交流

毎年 1 回、会員会社の施設の見学を始め各地の海藻関連施設の訪問を通じて、会員相互の理解と友情を深める有意義で楽しい機会を設けています。

会員の募集

日本海藻協会の会員は、協会の目的に賛同する団体または個人で、正会員（主に企業会員、年会費 30,000 円）または準会員（主に個人会員、年会費 10,000 円）のいずれかです。会員の区別の詳細は、別途、

規約をご覧ください。応用海藻学あるいは海藻産業に関心をお持ちの方々の入会をお待ちしております。

設立の経緯

1999年2月に国際海藻協会日本支部を母体として発足し、この目的に賛同する会員で構成され、会長、事務局長、幹事、監事で構成する運営委員会を中心に活動してきました。しかし、発足以来8年を経過する間に浮かび上がってきた種々の問題を解消するため、2007年に抜本的な組織改革を行い、2008年1月からは会員の中から15名未満の理事を選出し、理事会を中心に運営する体制に移行し今日に至っています。